

## ～おいらせ町の良いところ、ちょっと残念なところ～

No.	誇り	No.	残念
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人がいい</li> <li>・自然</li> <li>・住みやすい街(人口が増えている)</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の交通が不便だ(特に町民バス)</li> <li>・地域の活動に特定の人だけしか集まってこない</li> <li>・良い農産物を活かしてきていない(アピール不足、関係者のつながりが無い)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住みたいと思える町である(人柄が良い)</li> <li>・伝統、文化が守られている(合併後も名に変化があまり見られない)</li> <li>・食べ物がおいしい(農業、水産業が盛ん)</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校、クラスになじめない子の救済(三沢のような別施設がほしい)</li> <li>・「やりたい」きもちを後押し。窓口の明確化。(アドバイス、助成金全額)</li> <li>・地元産業を活かしてきてない                     <ul style="list-style-type: none"> <li>↳ 転勤族の価値観・商売にしてない人の特技を商品開発</li> </ul> </li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸海空がある</li> <li>・町民がイキイキしている(主にご老人)</li> <li>・伝統を守ってきた(百石えんぶりetc)</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下田、百石間での壁がみられる(意識・文化・生活の差)</li> <li>・交通の便がすべて良いとはいえない(地区による差、昔あった商店等の衰退、年齢による考え方の差)</li> <li>・土地が有効活用されていない(使われていない田、畑、遊歩道がない)</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が増えている</li> <li>・特技を持っている人がたくさん</li> <li>・奥入瀬川の河川敷がきれい(鮭まつり、清掃活動)</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き口が少ない</li> <li>・下田、百石の間に壁がある</li> <li>・下田、百石間での交流を広める、深めるべき</li> </ul>

※表①

い▼合併したけどあまり変化が実感できない▼20年間の内に2度も大きな震災が起きた▼北部・下田・百石といまだに分かれている▼イオン周辺の開発が遅れている 等々

**テーマ②「おいらせ町の良いところ、ちょっと残念なところ」**

おいらせ町の時代の流れを再確認したところで、今回のワークショップの本題とも言えるテーマに。各グループでおいらせ町の良い(誇りに思う)ところ、ちょっと残念なところについて語り合い、さらにグループを入れ替えてテーマを膨らませました。たくさん出た意見の中から1グループにつき、誇りと残念をそれぞれ3つに絞り、発表しました。(上記※表①参照)似たようなポイントに注目した意見もあれば、違った視点から見た意見もあり、どれも興味深く、心当たりのあるものでした。

今回は、全国の先進事例からおいらせ町が学べる、活かせるところはなにか、事例紹介映像を見ながら考えます。次回もますます有意義な時間になりそうです。



ラフな雰囲気でありながら真剣においらせ町の良いところ、残念なところについて語るメンバー

## おいらせ町の誇り・残念って何？

7月25日(土)、みなくる館ホールを会場に2回目となる「おいらせの学び MIRAI カフェ」が開催され、14名の参加者が集まりました。そのうちの約半数は、前回と違う顔ぶれとなり、また一味違ったカフェとなりました。

今回のワークショップも、青森中央学院大学の佐藤淳准教授をコディネーターに、ワールドカフェの手法で行いました。

第1回では、「おいらせ町のありたい姿」について語り合いました。今回はそのありたい姿を目指すために、おいらせ町とはどんな町なのか、どんな状態なのか「おいらせ町の現状」について対話しました。

**テーマ①「年表づくり」**

様々な視点で過去を振り返りました。おいらせ町の過去だけでなく、日本・世界の出来事、さらにはメンバーそれぞれ個人の出来事を年表にして書き出しました。

始めに町教育委員会社会教育・体育課の成田和久社会教育主事が、町勢要覧に沿っておいらせ町の概要について説明し、そのあとワールドカフェへ。今回は「年表づくり」と「町の良いところ、残念なところ」の2つのテーマで対話しました。

96年以前▼イオンモール下田オープン▼バブル崩壊▼地元へ帰省(個人)

96～00年▼ASO交流開始▼携帯・インターネット普及

01～05年▼イオンから観覧車が消える▼東北新幹線開業

06～10年▼おいらせ町誕生▼政権交代▼リーマンショック

11～15年▼東日本大震災▼おいらせ町へ引っ越す(個人) 等々

書き出したことにより、気づいたことも話し合い、時代の流れを共有しました。

▼ここ20年くらい転入者が多

住民  
ワーク  
ショップ

おいらせの学び  
**MIRAI**カフェ